

「認知症地域医療支援事業の実施について」（平成27年4月15日老発0415第6号厚生労働省老健局長通知）新旧対照表

改正後	現行
<p style="text-align: right;">老発0415第6号 平成27年4月15日 <u>老発0331第7号</u> 平成28年3月31日 <u>一部改正 老発0329第6号</u> <u>平成30年3月29日</u></p> <p>都道府県知事 各 殿 指定都市市長</p> <p style="text-align: center;">厚生労働省老健局長</p> <p style="text-align: center;">認知症地域医療支援事業の実施について</p> <p>今後の認知症高齢者の増加により、身近な主治医（かかりつけ医）のもとに通院する高齢者の中からも経過中に認知症を発症するケースの増加等が予想されることから、かかりつけ医が適切な認知症診断の知識・技術等を修得できるための研修及びかかりつけ医への助言その他の支援を行う認知症サポート医の養成を行うとともに、病院勤務の医療従事者が認知症ケアについて理解し適切な対応をできるようにするための研修等を実施することを目的として、別添の通り実施要綱を定め、平成27年4月1日から適用することとしたので通知する。</p> <p>各都道府県・指定都市におかれては、関係団体等と連携の下、各地域における早期診断・早期対応のための体制整備並びに適切な事業実施にご協力願いたい。</p>	<p style="text-align: right;">老発0415第6号 平成27年4月15日 <u>一部改正 老発0331第7号</u> 平成28年3月31日</p> <p>都道府県知事 各 殿 指定都市市長</p> <p style="text-align: center;">厚生労働省老健局長</p> <p style="text-align: center;">認知症地域医療支援事業の実施について</p> <p>今後の認知症高齢者の増加により、身近な主治医（かかりつけ医）のもとに通院する高齢者の中からも経過中に認知症を発症するケースの増加等が予想されることから、かかりつけ医が適切な認知症診断の知識・技術等を修得できるための研修及びかかりつけ医への助言その他の支援を行う認知症サポート医の養成を行うとともに、病院勤務の医療従事者が認知症ケアについて理解し適切な対応をできるようにするための研修等を実施することを目的として、別添の通り実施要綱を定め、平成27年4月1日から適用することとしたので通知する。</p> <p>各都道府県・指定都市におかれては、関係団体等と連携の下、各地域における早期診断・早期対応のための体制整備並びに適切な事業実施にご協力願いたい。</p>

(別添)

認知症地域医療支援事業実施要綱

第1・第2 (略)

第3 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修事業

(1)～(3) (略)

(4) 研修内容

研修受講者に対し、標準的なカリキュラム(別記2)に基づき、病院勤務の医療従事者として必要な認知症ケアの原則等の知識の修得に資する内容とする。

(5)～(7) (略)

(別記2) 標準的なカリキュラム

		研修内容	
I	ねらい	認知症の人の視点で、認知症ケアに求められていることを理解する	
	到達目標	1 研修の目的を理解する 2 <u>認知症の人の視点で、対応への課題を理解する</u> 3 <u>認知症の人を取り巻く施策等について理解する</u>	
	目的 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・入院する認知症の人に起こっていること ・認知症の人の将来推計 ・認知症に関連する国の施策(研修の背景) ・一般病院での認知症対応のための体制整備の要点 	
II	ねらい	<u>疾患を理解し、入院中の対応の基本を習得する</u>	
	到達目標	1 <u>疾患の特徴を理解する</u> 2 <u>入院生活における認知症の人の行動の特徴を理解し、対応方法について習得する</u> 3 <u>各専門職の役割と院内連携について理解する</u>	
	対応力 (60分)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の病型、症状、経過 ・治療薬と薬物以外の療法とケア ・介護者への支援 ・認知症の人の理解 ・認知症ケアの基本 	

(別添)

認知症地域医療支援事業実施要綱

第1・第2 (略)

第3 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修事業

(1)～(3) (略)

(4) 研修内容

研修受講者に対し、標準的なカリキュラム(別記2)に基づき、病院勤務の医療従事者として必要な認知症ケアの原則等の知識の修得に資する内容とする。

(5)～(7) (略)

(別記2) 標準的なカリキュラム

		研修内容	
I	ねらい	認知症の人の入院に際して、認知症とケアの基本を理解する	
	到達目標	1 研修の目的を理解する 2 <u>認知症の人が入院することの全体像を理解する</u> 3 <u>認知症の人の特徴とケアの基本を理解する</u>	
	目的 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題(研修の背景) ・認知症高齢者の現状 ・急性期病院における認知症の治療・ケアの課題 ・研修の目的 ・入院中のケアの問題 	
II	ねらい	<u>認知症の人のアセスメント、入院中の対応の基本を習得する</u>	
	到達目標	1 <u>認知症の人の入院時に行うアセスメントのポイントを理解する</u> 2 <u>入院生活における認知症の人の行動の特徴を理解する</u> 3 <u>入院中に問題になりやすい場面の対応方法について習得する</u>	
	対応力 (60分)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の診断基準(DSM) ・入院の際に留意が必要な認知症の症状と要因・誘因 ・認知症の事例(BPSD) ・認知症ケアの展開における4つの視点 ・入院加療・退院をスムーズに進めるための4つの視点 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・行動・心理症状（BPSD）への対応 ・せん妄への対応 ・各医療従事者の基本的な役割と院内連携上の役割 			<ul style="list-style-type: none"> ・身体合併症の回復過程に応じた認知症ケアの視点 ・せん妄の問題
III 連携等 (15分)	ねらい	<u>院内・院外の多職種連携の意義を理解する</u>	III 連携等 (20分)	ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>院内・院外の多職種・他職種連携の意義を理解する</u> 2 <u>管理者として取り組む体制や環境整備の意義を理解する</u>
	到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>多職種連携の意義とメリットを理解する</u> 2 <u>院内・院外で多職種連携する必要性について理解する</u> 3 <u>多職種で行うカンファレンスの要点を理解する</u> 		到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>院内・院外の連携における認知症の人と自身のメリットを理解する</u> 2 <u>入退院の場面と院外の連携相手について理解する</u> 3 <u>管理者としての体制と環境作りについて理解する</u>
	主な 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>多職種連携のメリット</u> ・<u>入院前、退院後も含めた多職種・他機関連携</u> ・<u>多職種で行うカンファレンス</u> ・<u>入院時・退院時カンファレンスの主な検討課題</u> 		主な 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>適切でスムーズな医療・ケアを提供するために</u> ・<u>連携により期待される効果</u> ・<u>「管理者」の目的</u>
(様式3) (略)			(様式3) (略)		
第4～第7 (略)			第4～第7 (略)		